

読響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

土日の午後に楽しむ《珠玉の名曲選》

モーツァルト：

歌劇「フィガロの結婚」序曲

MOZART: "Le nozze di Figaro" Overture

ドヴォルザーク：

ヴァイオリン協奏曲 イ短調 作品53

DVORÁK: Violin Concerto in A minor, op. 53

ベートーヴェン：

交響曲第5番 ハ短調 作品67 「運命」

BEETHOVEN: Symphony No. 5 in C minor, op. 67

苦悩を乗り越え、歓喜へ！
運命の扉が、そっと開く。

運命

ベートーヴェン

ドヴォルザーク
ヴァイオリン協奏曲

©井村卓人



ウィーン国立歌劇場、バイロイト音楽祭など
世界の檜舞台で活躍するドイツの名匠

指揮=セバスティアン・ヴァイグレ

Principal Conductor= SEBASTIAN WEIGLE (常任指揮者)

日本音楽コンクール最年少優勝で話題を呼び、
息を呑むほどの美しい音色で魅了する新星

ヴァイオリン=戸澤采紀

Violin= SAKI TOZAWA

©朝野

読売日本交響楽団 第239回 土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 239

2021年8月28日(土) 14時開演
Saturday, 28th August 2021, 14:00

SY7,600 AY5,600 BY4,600 CY4,100

読売日本交響楽団 第239回 日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series No. 239

2021年8月29日(日) 14時開演
Sunday, 29th August 2021, 14:00

SY7,600 AY5,600 BY4,600 CY4,100

会場：

東京芸術劇場

コンサートホール (池袋)

Tokyo Metropolitan Theatre

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時 年中無休)

<https://yomikyo.or.jp/>

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

共催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

セバスティアン・ヴァイグレ (常任指揮者)

SEBASTIAN WEIGLE, Conductor

2019年4月から読響第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠。ベルリン生まれ。1982年からベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者として活躍後、指揮者に転身。2003年にはドイツの権威ある音楽雑誌「オーバンヴェルト」の「年間最優秀指揮者」に選ばれた。04年から09年までバルセロナのリセウ大劇場の音楽総監督を務め、08年からフランクフルト歌劇場音楽総監督の任にある。同歌劇場を「オーバンヴェルト」の「年間最優秀オーケストラ」や「年間最優秀歌劇場」に導くなど、その手腕は高く評価されている。パイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ベルリン放送響、ウィーン響などで活躍。昨年末の読響とのベートーヴェン「第九」公演でも絶賛された。

ドイツの名匠ヴァイグレが振る「運命」 新星・戸澤采紀が奏でるドヴォルザーク

6月から7月に充実した演奏を繰り広げた常任指揮者セバスティアン・ヴァイグレが、8月に再来日。昨年から計3度目となる14日間の隔離措置を経て《土曜・日曜マチネー》に登場します。ドイツを代表する名匠が、休日の午後を彩るにふさわしい3作品をたっぷりとお届けします。

メインは、ベートーヴェンの交響曲第5番「運命」。クラシック音楽史に燦然と輝く名曲中の名曲です。あの有名な“運命の動機”に始まり畳みかけるように展開する第1楽章から、終楽章では勝利のフィナーレが輝かしく響き渡ります。苦難を乗り越え歓喜に至る力強さが、時代を超えて人々の心を引きつけて止みません。ヴァイグレのタクトは壮大なドラマを細部まで鮮明に描き出し、ドイツ音楽の本流を受け継ぐ名匠が名作交響曲の神髄に迫ります。ヴァイグレ×読響の真骨頂が現れる、待望の「運命」をどうぞお聴き逃しなく。

前半に演奏するのは、ドヴォルザークのヴァイオリン協奏曲。交響曲第9番「新世界から」やチェロ協奏曲に比べると演奏される機会の少ない本作ですが、美しい旋律を次々と織りなすドヴォルザークの魅力を味わえるもう一つの傑作。特に、第2楽章のロマンティックな主題は、ヴァイオリンの魅力を最大限に引き出します。ソロを務めるのは、注目を浴びる新星・戸澤采紀。日本音楽コンクールを最年少で優勝し、卓越したテクニックと豊かな音楽性をもつ“若き実力派”が、哀愁漂う名旋律を艶やかな音色で奏でます。名匠と新星の二人が作り出す遠大な世界に期待が高まります。

冒頭は、モーツァルトの歌劇「フィガロの結婚」序曲。7月の《土曜・日曜マチネー》で登場した「セビリアの理髪師」に続く物語で、結婚をめぐる騒動や人間模様がコミカルに展開します。オペラを得意とするヴァイグレが、親しみやすいメロディを表情豊かに描き、活気あふれる音楽で開幕を飾ります。

夏の終わりの休日に、極上の演奏をご堪能ください。



戸澤采紀 (ヴァイオリン)

SAKI TOZAWA, Violin

2016年の日本音楽コンクールで最年少(15歳)優勝した新星。日本学生音楽コンクール中学校の部第1位、17年ヴァルガ国際コンクール第2位(最高位)など多数受賞。これまでにローザンヌ室内管、読響、都響、東京フィル、東京シティ・フィルなどと共演。NHKFMラジオ「リサイタル・ノヴァ」、BSテレ東「エンター・ザ・ミュージック」に出演。チェルカトール弦楽四重奏団メンバー。玉井菜採、ジェラルド・ブーレ、堀正文の各氏に師事。江副記念リクルート財団奨学生。使用楽器は、文京楽器の協力で英ペアーズ国際ヴァイオリン協会より貸与されたマッテオ・ゴフリアー。東京芸術大学に宗次徳二特待奨学生として在学中。

読売日本交響楽団 第239回 土曜マチネーシリーズ

2021年 **8月28**日(土) 14時開演
S ¥7,600 / A ¥5,600 / B ¥4,600 / C ¥4,100

読売日本交響楽団 第239回 日曜マチネーシリーズ

2021年 **8月29**日(日) 14時開演
S ¥7,600 / A ¥5,600 / B ¥4,600 / C ¥4,100

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋) 東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分(※駅地下通路2b出口と直結しています)

【座席】東京芸術劇場には一時託児サービスがあります(公演1週間前まで予約)。株式会社ミラクス ミラクスチケット0120-415-306(予約受付:平日9時-17時) ①学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。②都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。③ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。④未就学児のご入場は、固くお断りいたします。⑤マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296